



いわての 林業人40

はじめに

今月の普及班便りでは、平成26年度岩手県地域林業促進活動褒賞事業で表彰された3名の方をご紹介します。

藤原 昭二さん(奥州市)

○地域の森林育成に尽力

藤原さんは、農林業を営むかたわら、50年以上にわたって森林の育成に従事しています。

特に県有林事業では、1000鉢を超える県行造林の造成に取組み、奥州地区の森林資源の充実に尽力しています。

また、県内でもいち早く「緑の雇用制度」を活用して地域の雇用を創出するなど、地域振興にも大きく貢献しています。

○松くい虫・ナラ枯れの監視活動等に貢献

平成8年から、県有林の看守員として、奥州地区の約340鉢の県有林の監視業務に従事しています。

平成20年からは、松くい虫防除監視員として、松くい虫被害やナラ枯れ被害の拡大防止に努め、地域の森林資源の適切な維持・保全に貢献しています。

石関 啓志さん(遠野市)

○アブラムシ防除対策の確立

石関さんは、わさびを食害するアブラムシの防除技術の確立に向け、防虫テープを使用した害虫侵入防止試験や農薬の散布試験に精力的に取り組んでいます。

その成果を実際に普及しながら、生産者が長年苦しんできたアブラムシ防除対策の確立に一定の道筋をつけ、わさび栽培の普及と地域振興に貢献しています。

○林間わさび栽培の現地指導・普及啓発

岩手県林業普及指導協力員として地域の先導的な指導者として活躍しています。

特に、これまでの豊富な現場経験から、わさび栽培全般に卓越した技術を有し、地域の生産者や新規参入者を指導しています。

また、収量安定や地域の産地化に寄与するなど、わさび産業の振興に大きく貢献しています。

工藤 竹夫さん(二戸市)

○漆原木の確保、漆掻き後継者の確保・育成に尽力

工藤さんは、漆掻き職人で組織する「岩手県浄法寺漆生産組合」設立発起人として発足当時から活躍して

きています。

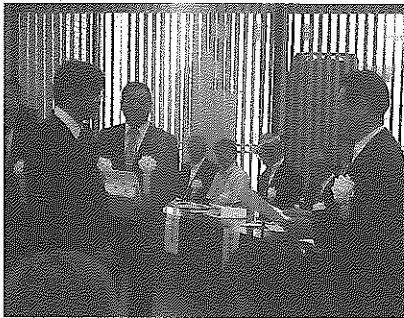
現在は組合長として、漆原木の確保や漆掻き後継者の確保・育成に尽力しています。

○漆の安定供給・需要開拓に貢献
毎年6月から「漆掻き」を開始し、11月までの半年は天気の良い日は、毎日漆掻きに従事しています。

明治時代に福井県からもたらされた、「殺し掻き」(その年掻く木の漆を全て掻きとるもの)という手法により、年間に約400本の漆から75kg以上採種し、品質、量ともに超一流の漆掻き職人として活躍しています。

おわりに

受賞された方々におかれましては、おめでとうございます。



表彰式の様子

林業技術センター普及班

019(698)1337